

令和6年度 第1回学校運営協議会（記録）

期日:令和6年7月4日（木）

10:00～11:30

場所：会議室

○授業参観 10:00～10:30

○学校運営協議会 10:30～11:30

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 学校運営協議会委員、本校職員紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 議事

(1) 協議

- ①令和6年度学校経営計画について（2、3頁）・・・・・・・・・・資料のとおり ※承認
説明〈学校から〉

学校経営方針（2頁）令和5年度第2回学校運営協議会（令和6年2月）に委員のみなさまに案を提案したものである。

パートナー（生徒、保護者、地域住民、進路先）と連携しながら、本校の教育理念である「生きがいある豊かな生活の実現～生徒一人一人の自己実現を目指す指導・支援～」、教育目標である「自立と社会参加を目指して、たくましく生きる生徒～可能性の伸長と生きる力の育成～」をパートナーのニーズを捉え実現していきたい。

また、中長期目標として専門学科のみの高等支援学校としてキャリア教育を実践し、進路実現を図ることが本校の使命であると感じている。令和6年度の重点目標は具体的には下に示した7つである。

学校経営方針をもとに3頁の学校経営計画を作成した。今年度の重点目標7つに「ク 不適切な指導・言動の根絶」を加えて8つの重点目標とした。不適切な指導・言動の根絶に取り組む「岩手モデル」を受けたものである。

- ①に対する意見、質問（特になし）

(2) 報告

- ①令和6年度学校概要について・・・・・・・・・・資料のとおり

- ②令和6年度具体的方策に関する数値目標について・・・・・・・・・・資料のとおり

質問〈 E委員 〉

・3の1、一般就労達成率の今年度目標値が65.0%と低い数であるが、実際厳しい面があるのか。

回答〈 学校から 〉

・今年度の3学年に関して、仕事をする上での土台の部分をしっかりとしつけてから就労を目指す生徒や長期入院をしている生徒など例年より複数名いる。さらに26名と少人数の学年である。

意見 〈 C委員 〉

- ・1の5、図書貸出冊数について、一人一冊が未達成な状況は少し残念に思う。

回答 〈 学校から 〉

- ・生徒一人一冊を目標に取り組みたい。

③令和6年度主な行事について・・・・・・・・・・資料のとおり

④令和6年度いじめ防止基本方針について・・・・・・・・・・資料のとおり

説明 〈 学校から 〉

- ・「いじめ対策委員会」の設置について、重大事案が発生した際は学校運営協議委員の方々を招集すること承知いただきたい。

いじめを把握し、組織的な対応を心がけている。学年集会等でのマモル学習をとおり未然防止に取り組み、相談支援部の月1アンケート、保護者へもお願いしている年2回のいじめアンケートを実施して実態把握に努めたい。学校として組織的に対応し、いじめが発生しないよう取り組んでいきたい。

意見 〈 C委員 〉

- ・生徒同士のライン（SNSトラブル）の使い方について、利用の度合いや頻度を自分で理解できるよう指導願いたい。また、自分が書き込む内容が、相手を傷つけてしまうことがあるということを指導願いたい。メッセージを送信する前に書き込んだ内容をもう一度自分で振り返る指導をお願いしたい。

意見 〈 D委員 〉

- ・生徒同士でSNSの使い方について、話し合いをもち解決していくといいのではないかと。間違った使い方に自分たちで気がつけるようにしたい。一方的な指導だけでは、納得は得られにくいのではないかと。

回答 〈 学校から 〉

- ・参考にして指導にあたりたい。

⑤令和5年度卒業生進路状況について・・・・・・・・・・資料のとおり

説明 〈 学校から 〉

- ・訂正令和5年度一般就労30名（誤）→令和5年度一般就労31名（正）
- ・令和5年度は、挨拶・返事・報告・笑顔を実習先からいただく生徒が多かった。結果的にこれらが就労に結びついたと感じている。今後も定期的に就労先を訪問し、定着率80%を目指していきたい。

質問 〈 B委員 〉

- ・令和5年度の職場開拓の状況を教えてほしい。

回答 〈 学校から 〉

- ・実習の受け入れ実績はあった会社において、雇用に至ったのは12件（雇用実績有を含む）。

質問 〈 E委員 〉

- ・高校生に対する求人数が多くなっているニュースを聞くが、支援学校の状況はどうか。

回答 〈 学校から 〉

- ・学校訪問の会社が増えている。障がい者の求人雇用率2.5%が令和7年10月に2.7%になるこ

とも影響していると思われる。

⑥令和5年度特別支援教育センター業務状況について・・・・・・・・・・資料のとおり

説明〈 学校から 〉

- ・令和5年度は、その他のセンター業務が0件であるが、コロナが緩和になり件数が増える見込みである。また、令和6年度から中学1・2年生見学を中学2年生見学とした。学校へ行こう週間の対象制限を緩和したこと等が理由である。

質問〈 F委員 〉

- ・中学1・2年生見学に飯岡中がないが、理由はあるか。

回答〈 A委員 〉

- ・昨年度在籍生徒が、1年生だった。今年度は申し込んでいる。

⑦その他について

特になし

6 委員から

〈 A委員 〉

- ・入学式に来校した。授業を参観したのは初めてである。生徒たちが学習に取り組む様子が見受けられた。校舎内がきれいで見習いたい。

〈 B委員 〉

- ・本センターは、障害をもつ方の職業に関することを担当している。就労とともに定着率が重要であると感じる。職業教育の重要性を感じるなかでコミュニケーション能力、「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」が定着率につながると感じている。

〈 C委員 〉

- ・働くことに必要な基本的な土台づくりを3年間でクリアできるよう取り組んでもらいたい。多くの生徒が職場での定着について、頑張っていると思う。長く働き続ける生徒であってほしい。

〈 D委員 〉

- ・生徒の挨拶する様子、笑顔が多くみられた。叱咤激励し一人一人、個のよい面を伸ばしてほしい。寄宿舎生が全校生徒数の半数と聞いた。寄宿舎生活も楽しい場であってほしい。

〈 F委員 〉

- ・クリーニング室に柔道着があり、柔道経験者なので懐かしく思った。生徒たちに必要なこととして、自己肯定感があると思う。我々でも難しい部分あると思う。生徒が、自己肯定感を感じるようなところできるように生徒のいいところをみつけて、褒めてことが生徒の自信につながる。褒めて褒めて褒めごろしてほしい。

7 閉会